



神鋼鋼線グループ^o中期経営計画

Next Innovation 2026

社会が前に進むために、

「なくてはならない価値」を提供し続ける

神鋼鋼線工業株式会社



Index



- はじめに(理念体系・事業概要)
- 前中期経営計画の振り返り
- 新中期経営計画「Next Innovation 2026」



Index



- **はじめに(理念体系・事業概要)**
- 前中期経営計画の振り返り
- 新中期経営計画「Next Innovation 2026」

1. 神鋼鋼線グループが目指す姿(理念体系)

当社グループの理念体系は、社会の一員として果たすべき役割を示した「神鋼鋼線ミッション」と、すべての従業員・役員で共有する価値観と行動指針を示した「神鋼鋼線クレド」によって構成。

神鋼鋼線ミッション・神鋼鋼線クレド



社会が前に進むために、
「なくてはならない価値」を
提供し続ける



「意志」

Will (for the future)

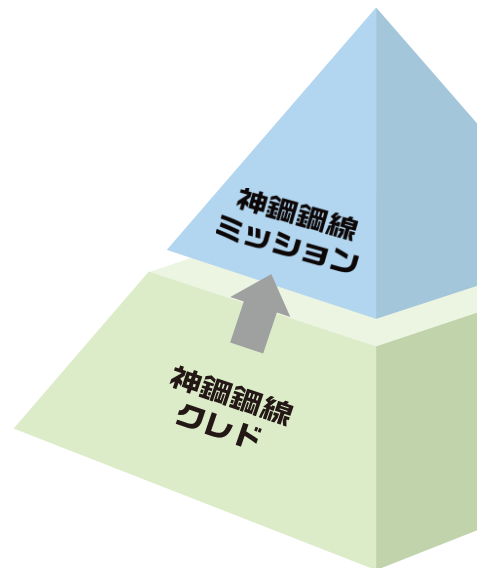
「団結」

Share happiness

「挑戦」

Challenge positively

お客様と社会に対して誠実に向き合い、次の世代へ、つないでいく



2. 事業概要

特殊鋼線関連事業、鋼索関連事業、エンジニアリング関連事業の3つの主要事業セグメントにて事業運営。

神鋼鋼線

3つの主要事業セグメント



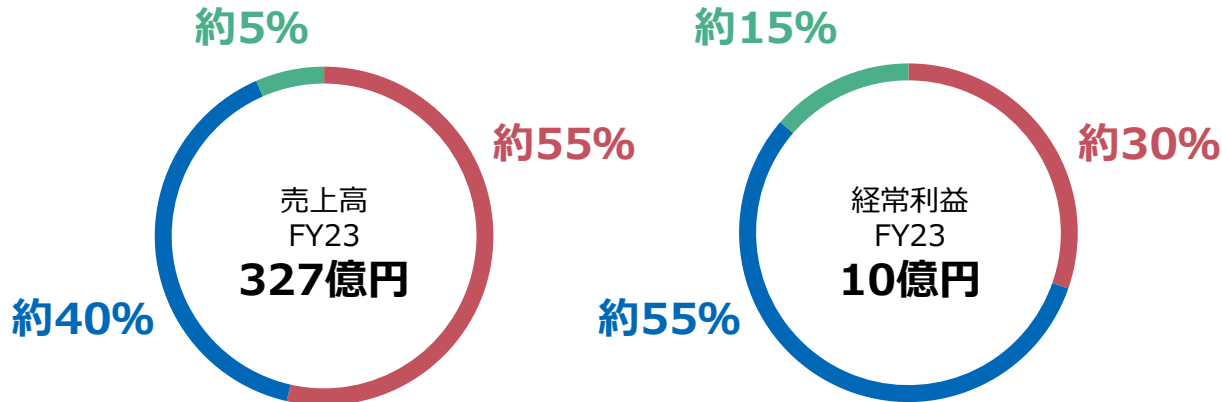
特殊鋼線関連事業



鋼索関連事業



エンジニアリング関連事業





3-1.事業概要 特殊鋼線関連事業 -主要分野-

道路・橋梁に用いられるプレストレストコンクリート用鋼材や、自動車・産業機械等に利用されるばね用の特殊鋼線を製造・販売。

公共事業 (国内)



道路・橋梁の補強材であるPC鋼材を供給。さらに、被覆等の加工技術の付加により耐久性や現場での生産性を向上。

<主な用途>

- 高速道路等床版
- PC橋梁
- アンカー等

自動車 (国内・海外)



自動車の軽量化(燃費向上)を実現する高強度かつ加工しやすいOT線を供給。

<主な用途>

- エンジン・クラッチ用ばね
- 内装部品用ばね等

建設関連 (国内)



高い耐久性や、大スパン構造が要求される建築構造物用に、様々なPC鋼材を供給。

<主な用途>

- マンション
- 倉庫・学校
- コンクリート二次製品等

その他



多様な分野へ加工難度の高い特殊鋼・特殊合金線を供給。

<主な用途>

- 化学プラント用ボルト(チタン線)
- ディスペンサーボトル用ばね(ステンレス鋼線)
- プリンター用ばね(ニッケルめっき線)等



3-2.事業概要 鋼索関連事業 -主要分野-

超高層用エレベータロープなどの高機能品から、幅広い分野で利用される一般品まで、多種多様なワイヤロープを製造・販売。

エレベータ (国内・海外)



常時荷重がかかる環境下でも安定した稼働ができる、高耐久性と柔軟性を兼ね備えたロープを供給。

<主な用途>

-高層建築用

エレベータ

実績:Burj Khalifa

東京スカイツリー等

クレーン (国内・海外)



高い技術力により、使用環境や用途に合わせた様々な特性のロープを供給(非自転性・柔軟性・耐摩耗性等)。

<主な用途>

-ジブクレーン

-クローラークレーン

-タワークレーン等

土木 (国内)



土木分野で広く利用される耐衝撃性や加工性に優れた高機能ロープを供給。

<主な用途>

-起重機

-杭打機

-ガードケーブル等

その他



ステンレスを利用した高耐食性ロープ等、特殊ロープを供給。

<主な用途>

-水門

-水処理施設等



橋梁用ケーブルの設計から製造、点検、メンテナンスまで総合サービスを提供するほか、耐震・防災関連製品の新製品開発・製造・販売を実施。

橋梁 (国内)



耐久性と空力特性等の優れたケーブル加工技術により、日本各地の橋梁で採用。

<主な用途>

- 吊橋・斜張橋・アーチ橋

実績:気仙沼湾横断橋
安仁屋橋等

メンテナンス (国内)

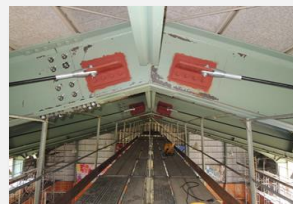


ケーブル製造のノウハウを生かし、質の高い橋梁ケーブルの点検・メンテナンスサービスを提供。

<主な用途>

- 吊橋・斜張橋のケーブルの点検・補修・補強等

耐震 (国内)



独自製品の耐震CB(ケーブルブレース)等、耐震補強材の開発・供給。

※耐震CBは大掛かりな足場不要・重機不要・火器不使用等、非常に施工性が高い

<主な用途>

- S造の工場・倉庫等の壁・屋根の耐震補強

防災 (国内)



道路・橋梁や洋上構造物等に利用される防災製品の開発・供給。

<主な用途>

- 道路の標識・照明・遮音壁・吸音板・トンネル内装板等の落下対策
- 落橋(橋桁の落下)防止
- GPS波浪計等の浮体式構造物の係留等



Index



- はじめに(理念体系・事業概要)
- **前中期経営計画の振り返り**
- 新中期経営計画「Next Innovation 2026」

1.前中期経営計画の振り返り

原材料・人件費を始めとした諸コストの高騰により事業環境が大幅に変化。そのため、計画の刷新が必要と判断し、新たな24～26年度中期経営計画を策定。

	FY21実績	FY22実績	FY23実績	前中計 FY25目標
売上高	294億円	312億円	327億円	315億円
経常利益	8億円	10億円	10億円	16億円
ROS	3.0%	3.3%	3.3%	5%
ROE	2.9%	3.9%	4.1%	5%
D/Eレシオ	0.48倍	0.47倍	0.45倍	0.5倍以下
配当性向	34.4%	31.9%	32.6%	30-40% 程度



Index



- はじめに(理念体系・事業概要)
- 前中期経営計画の振り返り
- **新中期経営計画「Next Innovation 2026」**

環境変化に適応し、持続的に成長できる企業基盤の構築

サステナビリティ経営の実践

社会課題の解決に向けて
5つのマテリアリティに注力し、
社会貢献×事業成長を両立



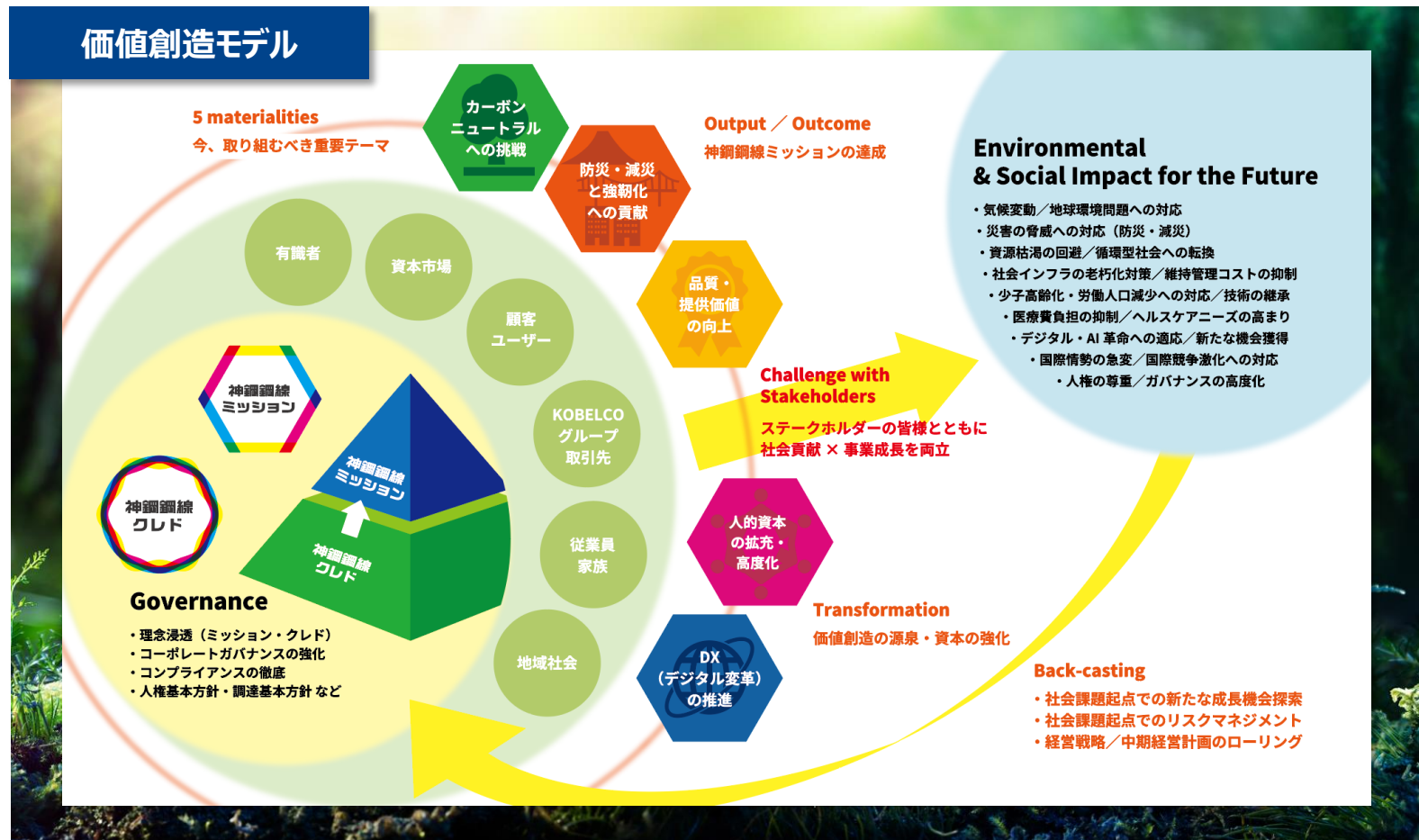
安定収益 ~ROIC 5%以上~

ROIC 5%以上を確保し、
持続的に成長する
安定収益基盤を確立



2-1.サステナビリティ経営の実践

「神鋼鋼線ミッション」を達成に向け、サステナビリティ経営の実践に注力する。社会課題解決を進め、ステークホルダーへの価値提供を継続することで、企業価値を向上させる。



2-2.5つのマテリアリティ

サステナビリティ経営におけるマテリアリティを設定。
事業の目的として3テーマ、事業継続の手段として2テーマを選定。

5つのマテリアリティ(重要テーマ)



5 materialities

今、取り組むべき重要テーマ

サステナビリティ経営
推進の基盤



2-3.5つのマテリアリティと取組方針

5つのマテリアリティには取組方針を設定して推進する。



3.2026年度目標

新中期経営計画では新たにROICを経営指標に取り入れる。
収益力を高めるとともに、投下資本のスリム化にも注力。

ROIC-----

5%以上

経常利益-----

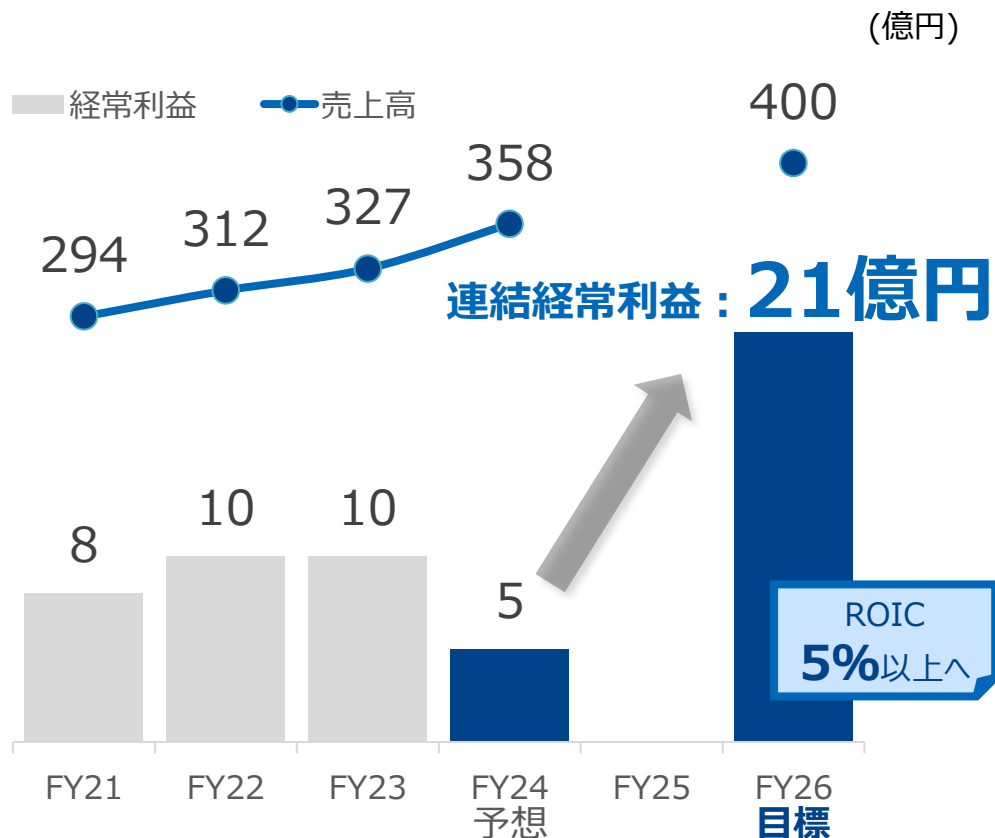
21億円

D/Eレシオ-----

0.5倍以下

配当性向-----

30~40%程度



【ROICを高めるための活動】

- ☑ 社会課題解決に貢献する新事業・新分野・新製品への挑戦
- ☑ 原材料だけでなく人件費等諸コストも含めた価格転嫁
- ☑ 投下資本のスリム化

4.事業環境・動向

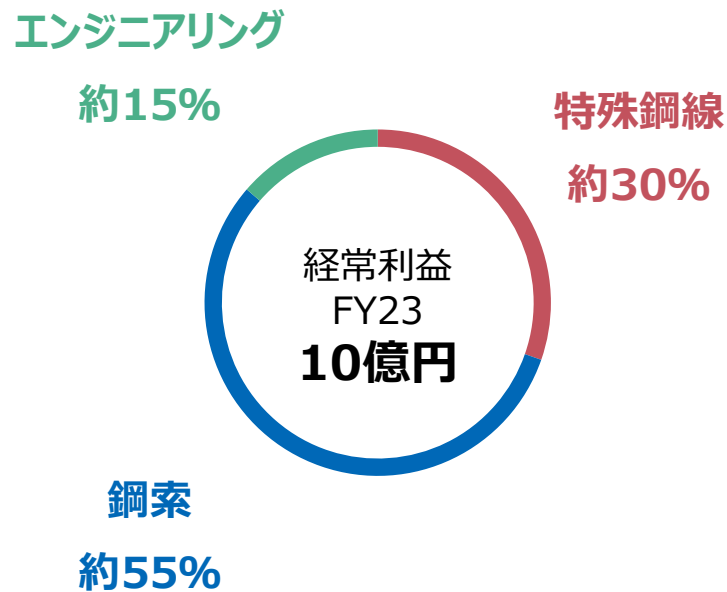
公共事業や自動車など主要分野の市場縮小に備え、成長分野の事業拡大および新エネルギー分野等の新規開拓にも注力。

特殊 鋼線	公共事業	◀	国内の新設橋梁は減少し、補修・補強が増加。それに伴いPC鋼材の使用量は減少。
	自動車	◀	長期的には新エネルギー車(EV等)への置き換えにより、ガソリン車の需要は減少。(中期的には横ばい)
	建設関連	▶	Eコマース拡大や物流問題への対策による物流施設の建設が増加。
鋼索	エレベータ	▶	ハイライズエレベータ用ロープの需要が増加。
	クレーン	▶	物流問題による船便増加でコンテナクレーン稼働は増加。労働力不足等による長寿命製品需要が発生。
	土木	▶	労働力不足等により労務負担軽減や作業効率を重視した高付加価値製品の需要が増加。汎用品を中心とした海外品の流入は脅威。
エンジニアリング	橋梁	▶	2030年までは、大型斜張橋案件が多数あり。 主な案件:京浜運河橋・大阪湾岸西伸部(新港・灘浜) 等
	メンテナンス	▶	建設から50年を経過する既存ケーブル橋が多数あり、メンテナンス需要は中長期的に発生。
	耐震・防災	▶	自然災害への備えとして、様々な建築物の耐震補強需要が中長期的に発生。

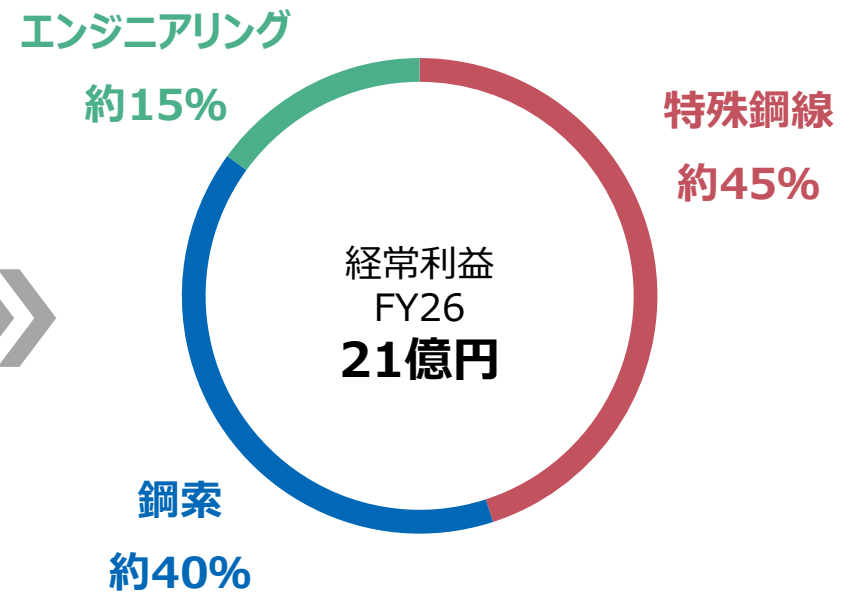
5.事業構成の変化

コスト環境影響を大きく受けている特殊鋼線の収益改善に加えて、エンジニアリングを中心とした成長分野での収益拡大を実現することで、全主要事業セグメントでの増益を計画。

FY23(実績)



FY26(目標)



6.サステナビリティ分野の売上成長

当社全体の売上成長の4割強を占めるサステナビリティ分野へ
今後も経営資源を積極投入し、防災・減災と強靱化への貢献製品
およびCO2排出削減貢献製品の販売拡大を目指す。

サステナビリティ分野の売上成長(FY23→FY26)



約**1.6**倍

サステナ関連売上



約**1.7**倍

CO2排出削減貢献製品売上

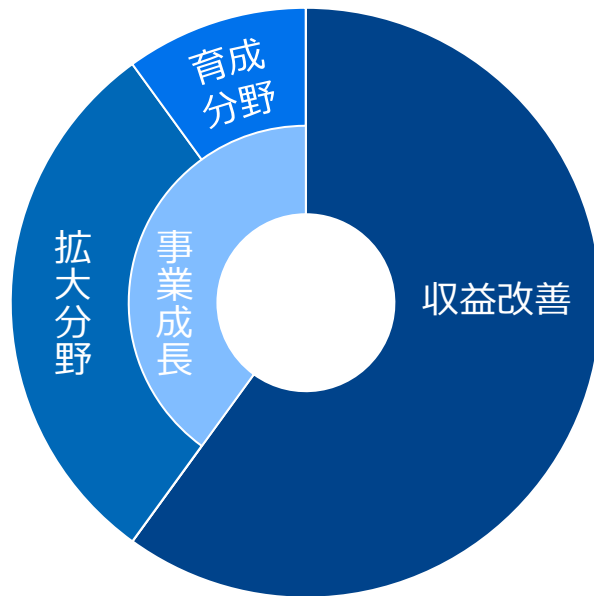


約**1.5**倍

防災・減災と強靱化貢献製品売上

7-1.重点実施事項 特殊鋼線関連事業

価格転嫁等による早急な収益改善が最重要課題。
市場ニーズにマッチした製品提供強化と、中長期的な成長を見越した
新事業・新分野育成にも注力。



価格転嫁や生産性向上による収益改善

- 原材料だけでなく人件費等諸コストも含めた価格転嫁
- 生産工程集約等による生産性向上およびロスコスト低減

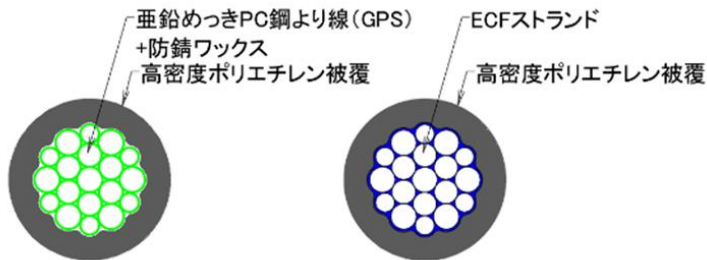
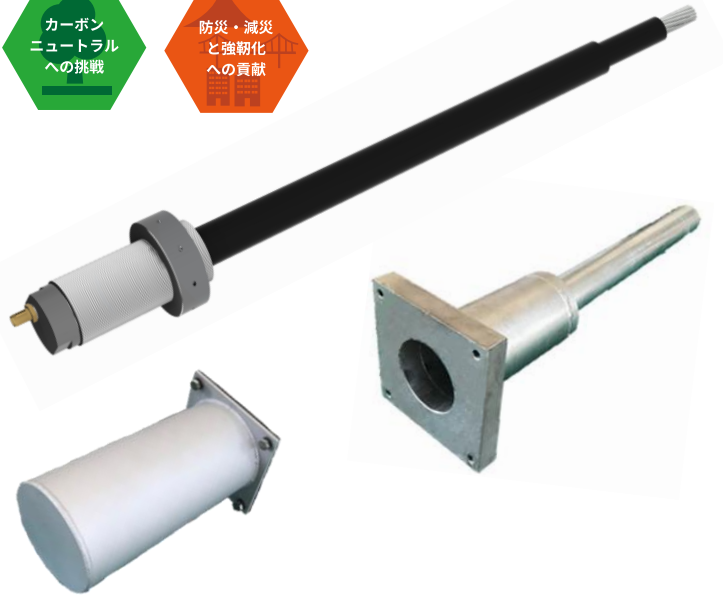
市場ニーズにマッチした製品提供の強化

- 公共事業分野
補修補強向けメンテナンスメニュー拡充及び独自製品採用拡大
- 自動車分野
弁ばね・クラッチばね用OT線の更なる品質力向上
自動車内装部品用途での採用拡大
- 建設分野
労働力不足等のニーズに対応した製品・技術の開発および展開

新エネルギー等、新分野の開拓と新事業育成

- 新エネルギー等、新分野の市場開拓
- カーボンニュートラル化に貢献する製品の開発および展開
- 新事業の市場開拓と技術・設備導入

橋梁補強用外ケーブル RE-SETケーブルシステム



- 高耐久・施工性の優れた外ケーブル補強工法
- 従来品に比べて高い疲労特性を有し、グリーン社会へも貢献

製品特性

- 防食鋼材を高密度ポリエチレンで被覆し、定着具および付属金具に複合被膜処理を施すことで高い耐食性と防食性を有する
- 2段式アンカープレートを採用により、定着部コンクリートのコンパクト化を実現
- 小さな施工空間でも緊張作業および張力調整が可能
- リングナット方式定着具採用により、荷重調整・再緊張・デテンション作業が容易

主な用途

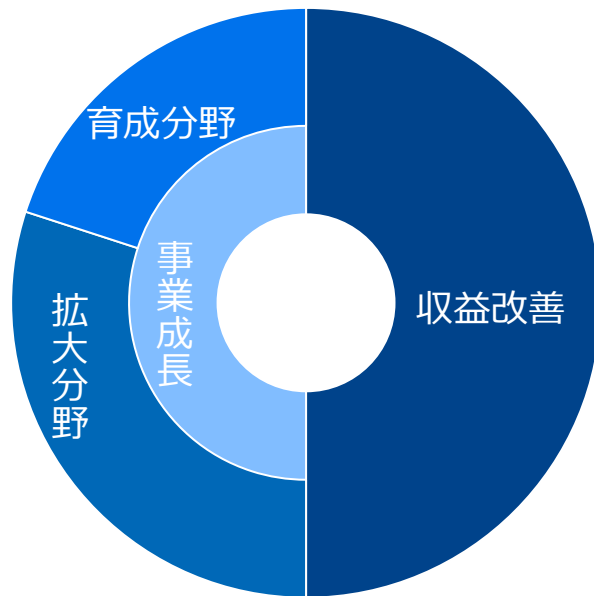
コンクリート橋、鋼橋向け外ケーブル補強用

主な使用実績

NEXCO高速道路の更新工事

8-1.重点実施事項 鋼索関連事業

価格転嫁と生産管理の見直しにより安定収益基盤を構築。
高付加価値製品やサステナビリティ貢献製品等の販売拡大にも注力。



価格転嫁や生産管理見直しによる安定収益基盤の構築

- 原材料だけでなく人件費等諸コストも含めた価格転嫁
- 生産管理の見直しによる短納期化および在庫量削減
- システム化、業務改善等による省力・省人化

高付加価値製品と輸出販売拡大

- 高品質が求められる高層ビルエレベータ用として採用実績が多数あるオメガファイラー(耐久性・柔軟性に優れた専用ロープ)等高付加価値独自製品販売の拡大
- 港湾クレーン・中国向けEVメンテナンス製品等、輸出販売の拡大

サステナビリティ貢献製品の開発と市場開拓

- 新エネルギー分野向け等、サステナビリティ貢献製品の開発および展開
- 長寿命・メンテナンスフリー等、労働力不足問題に貢献する製品販売の拡大

長寿命クレーン用ワイヤロープ オメガソリッド

カーボン
ニュートラル
への挑戦



- 長寿命化による交換サイクル延長を実現しグリーン社会へ貢献
- 今後の労働力不足にも対応した製品

製品特性

- 寿命が現行品の約2倍(10%断線)
- 疲労性能向上のため合成樹脂心を採用し、ロープ内部の金属間接触を最大限低減
- IWRC構成を見直す事で、IWRCとストランドの接触状態を改善
- ストランド数の最適化を図り、ロープとシーブの接触面圧を低減

主な用途

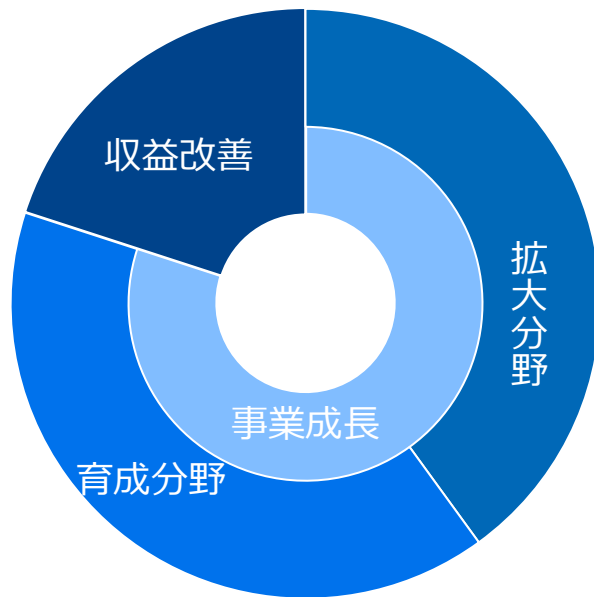
コンテナクレーン用ワイヤロープ

主な使用実績

各港湾のコンテナクレーン
(東京港、名古屋港、大阪港、神戸港、富山港、博多港等)

9-1.重点実施事項 エンジニアリング関連事業

中長期的な成長のために供給体制を強化。サステナビリティに貢献する独自製品・メニュー拡充や価格転嫁による収益改善にも注力。



大型新設橋梁案件の供給体制確立

- 中長期的な継続が計画されている大型橋梁案件に向け、設備投資・人員増強等、供給体制を構築

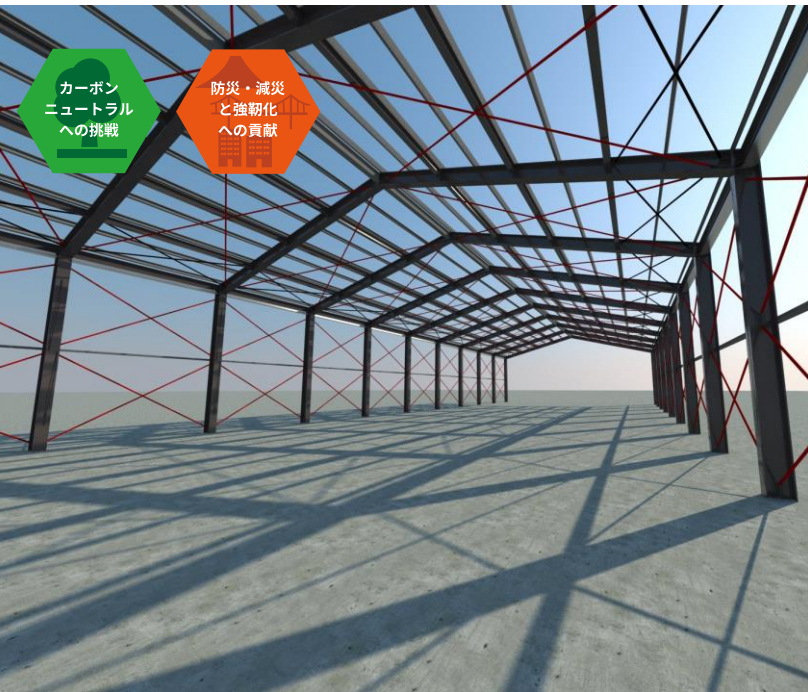
サステナビリティ貢献製品・サービスの拡大

- 独自製品である耐震ケーブルブレースの営業手法拡充および供給体制の整備による販売拡大
- 補強製品提供による木造重要文化財建築物保護への貢献
- 中長期的な需要発生を見込む橋梁ケーブルメンテナンスの点検メニュー拡充および社内体制強化
- 洋上風力発電向けの新たな係留索等、新エネルギー分野の市場開拓および製品開発

価格転嫁による収益改善

- 原材料だけでなく人件費等諸コストも含めた価格転嫁

壁・屋根の耐震補強 耐震ケーブルブレース



- 高強度のPC鋼より線を用いた強さ・軽さ・柔らかさを兼ね備えた耐震補強材
- 溶接不要なボルトで連結でき、CO2排出削減にも貢献

製品特性-----

- 一般的なブレース材よりも約5倍強く、約1/5の重さで曲げられるため、短い施工期間で簡単に取り付け可能
- 少ない作業員、足場での施工が可能で省力化に貢献
- 端末金具はピン1本で取付可能で、溶接不要なボルトで連結する方式を標準化し、CO2排出削減にも貢献

主な用途-----

鉄骨造の工場や倉庫、体育館などの屋根や壁の耐震補強

主な使用実績-----

- 西日本旅客鉄道株式会社 某施設
- 日本製鉄株式会社 九州製鉄所
- 株式会社神戸製鋼所 茨木工場 等

開放的な歴史的木造建物への耐震補強 $\phi 7$ ステルスブレース[®]

防災・減災
と強靱化
への貢献



■ 伝統木造重要文化財でも使用可能な 高強度でコンパクトな耐震補強材

製品特性

- 斜張橋用ケーブルの素線(7mm亜鉛めっき鋼線)を使用した耐震補強材
- 木造文化財の課題である耐震性と意匠性の両立が可能な社会的価値の高い製品
- Archi-Neering Design AWARD 2022 (第3回AND賞)にて「優秀賞」を受賞
- 軽量で簡易に施工できるため安全性が高く、狭小箇所でもコンパクトに設置が可能

主な用途

木造文化財の耐震補強

主な使用実績

偕楽園好文亭(奥御殿、楽寿楼)

専門家によるケーブル点検・調査・補修工事 橋梁メンテナンス



- 橋梁の適切な維持管理とインフラ老朽化防止で防災・減災と強靱化分野とグリーン社会へ貢献
- ケーブルメーカーとしての豊富な知識と経験を活かして多様なメンテナンスメニューを展開

製品特性

多様なメンテナンスメニューを提供

- ドローンを活用した点検
- 非破壊検査である渦流探傷調査
- 鋼線の腐食減肉を推定するレプリカ法
- キャリブレーション不要で張力測定可能な高次振動法
- 腐食の進行を遅らせるアンチメック工法 等

主な用途

斜張橋、吊橋などのケーブル、定着部 等

主な使用実績

尾道大橋(広島県)、末広大橋(徳島県) 等

10. 経営資源投入計画

収益改善や新製品・新サービス等の開発に加えて、
人的資本の拡充・高度化やDX推進にも経営資源を積極投入する。

設備投資

投資額(3年)約70億円

収益改善・設備増強・更新

約30億円

- PC鋼材製造設備の省人化
- OT線品質改善のための設備改造
- ロープ製造設備の更新
- 大型橋梁案件対応の設備増強
- 新事業用設備の増強 等

職場環境改善

約20億円

- 安全な職場環境の整備
- 働きやすい職場環境への改善 等

DX推進

約5億円

- 操業データの収集・見える化
- データ蓄積・分析基盤の構築
- ICタグによる業務改善システム導入
- 基幹システムの改善 等

研究/事業開発

新製品

- カーボンニュートラル貢献製品の開発
- 防災・減災と強靱化関連製品の開発
- 新エネルギー分野製品の開発
- 新事業進出に向けた技術・設備導入 等

新サービス等

- メンテナンス事業拡大のための技術者採用
- IT技術を用いた橋梁メンテ診断サービス
- AIによる生産計画自動化手法の開発 等

人材投資

- 採用強化・離職抑制等、人材確保の強化
- 研修等、人材育成の強化
- DE & Iの推進・人事制度・就労環境の整備 等

※その他、安定操業、経常的工事等で約15億円計上

※人的資本の取り組みについて：<https://www.shinko-wire.co.jp/pdf/20240509sustainability.pdf>

ROIC 5%以上の実現に向けて、
各事業セグメントでの収益拡大に加えて、投下資本効率化にも注力。

ROIC 5%以上達成に向けた投下資本効率化の取り組み

CCC改善

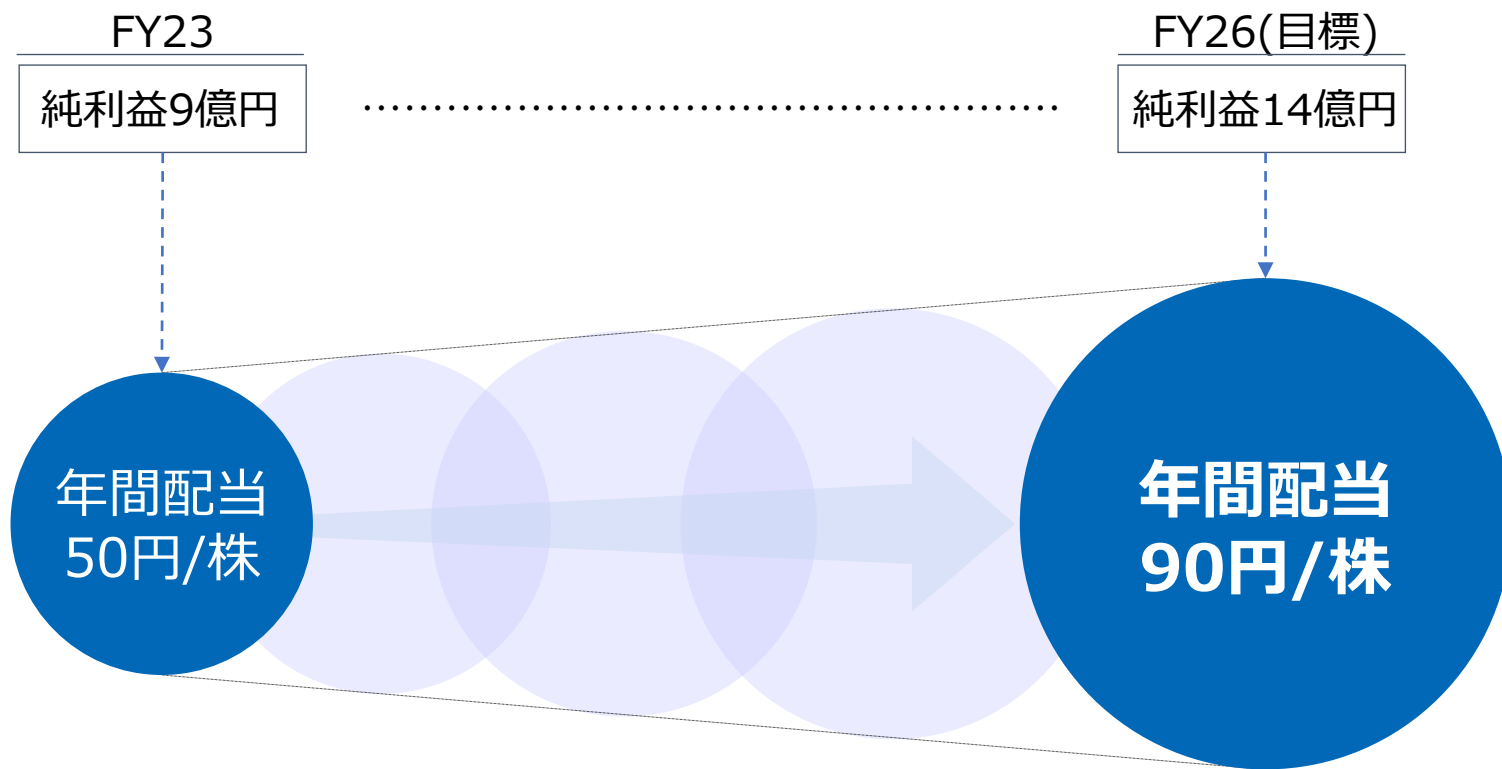
- 1 適正在庫の見直しによる棚卸資産圧縮
- 2 売上債権回収サイトの短縮
- 3 債権流動化

固定資産 回転率改善

- 1 政策保有株式の見直し
- 2 保有不動産・遊休設備等の見直し

12.株主還元方針

安定した収益基盤の確保に努めると共に、一層の経営基盤の強化や将来の事業展開を勘案し、内部留保の充実を図りながら、**連結配当性向30~40%(年間)程度の継続的な利益還元を目指す。**



13.PBR向上に向けた取り組み

PBR1.0倍超の実現に向けて、企業価値最大化を図る。



将来見通しに関する注意事項

- ◆ 本資料の中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

- ◆ 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - 為替相場の変動
 - 原材料のアベイラビリティや市況
 - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
 - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化